

# ODAによるダム開発 未解決の問題



日本は、二国間援助また世銀・ADBの融資を通じて、海外における多くのダム開発を支援してきました。ダム開発の計画段階においては国レベルの経済開発のみならず、地元社会の発展や貧困削減など、「バラ色の未来」が描かれてきました。しかし、果たしてそれらは実現したのでしょうか？

一方で、気候変動対策や水資源開発、日本企業支援などの名目で、現在さまざまなダム開発計画が浮上ってきています。

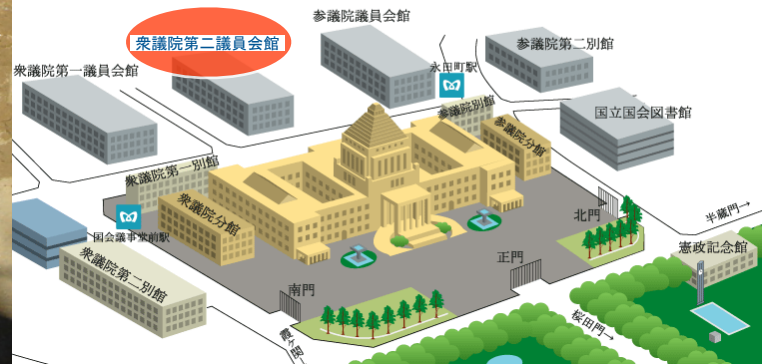
本セミナーでは、期待された事業効果を生まず、かえって農民に借金を負わせてしまったフィリピンのボホール灌漑事業や、「貧困削減」を掲げたラオスのナムトゥン2ダムなど、ODAによって支援された3つのダム事業を振り返り、その問題点を検証します。

場所: 衆議院第2議員会館 第2会議室

住所: 東京都千代田区永田町2-1-2

(最寄駅: 東京メトロ 国会議事堂前駅 永田町駅)

## 国会周辺図



## プログラム

### 1. 開会あいさつ (5分)

### 2. ODAによるダム開発

#### 1) 山積する未解決の問題～フィリピン・ボホール灌漑事業が招いた混乱

波多江秀枝 / FoE Japan 委託研究員

Reynaldo Luchana (レイナルド・ルチャナ) 氏 / ALMABIPDA: アルマビプダ代表

(ピラーダム事業の犠牲になった農民連合)

#### 2) 破られた約束～「貧困削減ダム」ラオス・ナムトゥン2が生む貧困

東 智美 / メコン・ウォッチ

#### 3) 開発による貧困にどう対するのか～タイ・パクムンダムの教訓

木口由香 / メコン・ウォッチ

### 3. ODA見直しは生きるか

清水規子 / FoE Japan

プログラムは、変更になる可能性があります。

主催: メコン・ウォッチ、国際環境NGO FoE Japan



詳細/申し込み: [www.foejapan.org/aid/doc/evt\\_101012.html](http://www.foejapan.org/aid/doc/evt_101012.html)